



てき丸君News 第39号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

http://www.zensanpairen.or.jp

第34回理事会を開催 定時総会提出議案など審議

当連合会の第29回理事会を5月23日に開催しました。

今回の理事会では、6月16日に第7回定時総会の開催を控えていることから、総会に提出する議案（平成28年度事業報告及び決算案）や全国産業廃棄物連合会会長表彰の候補者を中心に、総会の運営等にかかわる議題が審議されました。

また、当連合会の名称変更を協議したほか、「産業廃棄物処理業の業法を含めた振興方策の検討に関するタスクフォース2」の中間報告、産業・資源循環議員連盟との懇談会（懇談会の模様は2ページに掲載）、平成29年度の産業廃棄物処理業における人材育成事業などの説明・報告を行いました。

なお、理事会の議事や総会提出議案の内容は、後日会員の皆様にお示しいたします理事会議事録及び総会議案書をご覧ください。

●連合会会長表彰 総勢383名が受賞●

全国産業廃棄物連合会会長表彰の候補者については、理事会での審議の結果、総勢383名の方々が受賞されることとなりました。受賞者の皆様、誠にありがとうございます。

表彰種類	受賞者数
功労者表彰	24
地方功労者表彰	66
優良事業所表彰	23
地方優良事業所表彰	121
優良従事者表彰	149
計	383

第7回定時総会及び関係行事開催概要

◆開催日 平成29年6月16日（金）

◆場 所 明治記念館
東京都港区元赤坂2-2-23
TEL 03-3403-1171

◆行事時間帯・会場

・総会及び表彰式 13:30~16:15
会場 蓬莱の間

・講演会 16:30~17:30

会場 蓬莱の間

演題 「出来る社員」を育てる原則

ー考え方ーつで社員は変わるー

講師 片山 祐介氏

リテールデザイン研究所所長

(元)イトーヨーカ堂執行役員

・懇親会 18:00~20:00
会場 富士の間

●講演会は「出来る社員を育てる」テーマに●

定時総会閉会後の講演会は、リテールデザイン研究所所長の片山祐介（かたやま ゆうすけ）さんを講師に迎え、『「出来る社員」を育てる原則』のテーマで行うこととなりました。片山講師は、セブン&アイ・ホールディングスの各社役員を務められるなど、長年にわたる小売業界での実績を基に、現在は経営コンサルタントとして活躍されている方です。皆様ご期待ください。

産業・資源循環議員連盟幹部と活発に意見交換

産業・資源循環議員連盟幹部と全産連幹部との懇談会が、5月23日に参議院議員会館地下1階B103号室において開催されました。

最初に、田中和徳産業・資源循環議員連盟会長代行が開会挨拶に立ち、「先般、3Rの取組みで、捨てていたものが、商品になりお金になることが紹介された。ここまで進んでいるかと実感しました。世界中の考え方も変わってきており、我が国は3Rや廃棄物処理における技術は先進国である。本日は環境省の幹部も出席されており、廃棄物処理法等見直しに関しての全産連の要望事項の実現に向けて、議員連盟としてもそのための支援をしていきたい。」と挨拶されました。

続いて、当連合会の石井会長が挨拶し、「昨年5月の懇談会において全産連がまとめた、廃棄物処理法の見直しの要望事項を検討いただいた。現在国会で廃棄物処理法改正案の審議が行われているが、連合会の要望事項のほとんどは、今後の政令、省令等の対応と理解しており、環境省において措置をお願いしたい。また、環境省が産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言をされたことは、大変喜ばしく心強く感じている。方策の一つとして触れられているが、産業廃棄物処理業界における海外からの技能実習生の受入れについても、産業廃棄物処理が対象職種となるよう、将来に向けた取組みを始めている。議員連盟の先生方のご理解とご指導をお願い申し上げたい。」と述べました。

次に、本日の議題である、①廃棄物処理法の改正について、中井廃棄物・サイクル対策部長、中尾産業廃棄物課長より、現国会における審議状況と全産連の要望事項についてどのように反映されているか、また、今後どのように対応していくかについて説明があり、そして、②「産業廃棄物処理業界の振興方策」に関する提言について環境省からその提言内容について報告が行われました。

また、③海外からの技能実習生と産業廃棄物処理業界の現状について、当連合会の森谷専務理事が説明し、「産業廃棄物業界における海外の技能実習生受入れの関心は高まっているが、現状、産業廃棄物処理業は実習生受け入れの対象職種に入っていない、受け入れが出来る国内外の体制づくりが必要であり、これから準備を進め取組んで行く」と述べました。

これらの説明の後、議員連盟の先生方と意見交換を行いました。議員連盟としては、全産連の要望事項を今後、政令、省令に十分反映すること、また、人材育成・技能実習生受け入れの取組み等について業界の意見を十分に聞きながら取組んで行くよう環境省に要望されました。

当日の出席者は以下の通りです。

- 産業・資源循環議員連盟幹部

田中和徳会長代行、鶴保庸介会長代理(沖縄・北方大臣)、渡辺博道幹事長、片山さつき事務総長、あかま二郎事務局長

- 全国産業廃棄物連合会

会長：石井邦夫

副会長：門脇生男、橘 正則、城田裕司、永井良一、武田全弘、越生昭徳、東條昭二、大野羊逸
理事：浜野廣美(建設廃棄物部会長)、森谷賢(専務理事)

- 全国産業廃棄物連合会政治連盟

副理事長：藏本忠男、高橋俊美 理事：川本義勝(業法担当)、監事：小林増雄

- 環境省

中井徳太郎廃棄物・リサイクル対策部部長、室石泰弘審議官、小野洋企画課長、中尾豊産業廃棄物課長、相澤寛史産業廃棄物課総括課長補佐、古市哲也産業廃棄物課課長補佐、瀧屋直樹産業廃棄物課規制係、高林祐也リサイクル室総括課長補佐、鈴木克彦廃棄物対策課総括課長補佐

(政治連盟事務局長・土井)



官公庁関係ニュース

【環境省】

- ◇廃棄物処理法施行令等の改正（水銀関係）についての説明会の開催について
<http://www.env.go.jp/press/104029.html>
- ◇平成29年度全国ごみ不法投棄監視ウィーク等における取組について
<http://www.env.go.jp/press/104069.html>
- ◇特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の施行状況（平成28年）について
<http://www.env.go.jp/press/103855.html>
- ◇「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」の取りまとめについて
<http://www.env.go.jp/press/104001.html>

【経済産業省】

- ◇グリーン購入法に係る公共工事の継続検討品目群（ロングリスト）
<http://www.meti.go.jp/press/2017/05/20170529004/20170529004.html>

連合会よりお知らせ

●産廃処理業景況動向調査結果について（2017.1-3月期）●

2017年1-3月期の景況判断DIは▲12（前回調査▲14）となり、3期連続で改善しました。また、契約単価DI・設備投資DI・資金繰りDIの3指標が3期連続で改善しました。（調査部・戒能）

●INDUST 6月号特集「環境アセスの20年から」●

環境影響評価制度は、環境と産業の両輪を支える中軸です。今年6月、同法成立から20年が経ちました。同じ1997年6月には、廃棄物処理法が改正。廃棄物処理施設の設置・変更についても住民説明が必要となり、大気・水質・騒音・振動・悪臭における所要の項目について、生活環境への影響の抑止が図られています。

あらゆる企業の事業計画を合理化する上で、制度の理念はもはや欠かすことのできない一方、特に処理施設の設置に関して、経営者は「迷惑施設」という偏見と風評を乗り越え、住民からの理解を得ることが求められます。

先行投資で事業性と環境影響への調査を行い、社会的な必要性を確かめ、長期をかけて意思決定と追加投資を行いながらも、住民理解の醸成がしばしば予測できない結果をもたらすことから、大方の悩みの種となってきました。——しかしなお、「環境を守り、産業を支える」。産業廃棄物処理企業と環境アセス制度は、この20年から何を学び、生かしていくのでしょうか。（事業部・東方）

- 主な行事予定 - （6月15日～7月28日）

【6月】

- 15日 青年部協議会第18回総会
- 16日 第7回定時総会
- 29日 建設廃棄物部会建設汚泥分科会

【7月】

- 4日 産業廃棄物処理実務者研修会（青森）
最終処分部会処分場早期安定化分科会

- 11日 第35回理事会
産業廃棄物処理実務者研修会（山形）
- 14日 医療廃棄物部会運営委員会
- 18日 マニフェスト推進委員会
- 19日 産業廃棄物処理実務者研修会（神奈川）
- 27日 産業廃棄物処理実務者研修会（千葉）
- 28日 第1回全国正会員事務局責任者会議